



“トータルサポート”で業界に貢献

株式会社 安部商会

代表取締役社長 安部 茂氏

大阪市東区(現中央区)に資本金50万円
で先代の安部雅社長が株式会社安部印刷材
料商会を設立したのが昭和34年。印刷関連
メディアに貢献することをモットーに印刷機材・
資材の流通販売業を開始し、顧客ニーズに
対応しながら業容を広げてきた。現在は印
刷関連資機材にとどまることなく、システム
関連から物流、工場用インテリアから配線工
事に至るまでトータルに顧客をサポートして
いる。昨今は中国への輸出も手掛ける。

2代目の安部茂氏は昭和62年に社長に

就任した。同年に現社名に改め、平成元年に
現社屋を竣工。資本金を4800万円に増資
した平成8年には社内ネットワークを構築し、
情報システム部を設立。完全なサポートサー
ビスを基本に、デジタル機器・各種ソフトウ
ェア・システム構築・ホームページ制作などの
事業にも着手した。安部社長が自ら制作し
た同社のホームページには、閲覧者が意見
を書き込むことができる「Tea room」なる
ページを設け、顧客ニーズの把握に生かし
ている。

連絡先

〒537-0023
大阪市東成区玉津1-10-19
電話 06-6976-7382 FAX 06-6974-3283
e-mail office@abenet.co.jp
URL <http://www.abenet.co.jp>

取扱製品はすべて「安全データシート」の
テストをクリアした信頼性のある商品のみ。
メーカーと業者を結びパイプ役として顧客
の経営環境に最適な商品の提供を常に心掛
けている。同業者とも競争するのではなく、
お互いの長所を生かしながら双方向に協力
して業界に貢献していきたいと安部社長は
話す。

平成11年からはNTT・KDDIとタイアップ
して通信機器回線の設定も開始した。現在
の従業員は10名。



断裁機・周辺機器の専門メーカー

株式会社 勝田製作所

代表取締役社長 勝田 忠司氏

大型機の精度を継承したコンパクト断裁
機606ミリから重・大型1550ミリのサイズ
別断裁機10機種と周辺の紙積み機3機種、
左右設置による6タイプ及び紙揃え機3機種
(同)といった断裁機中心の専門メーカー。

同社の創業は昭和9年、機械加工業として
のスタートで、以後、醸造用機械や段ボール
輪転印刷機をはじめ、活版印刷機や断裁機
の製造・販売へと業務を変更・拡大した後、
昭和38年に株式会社に法人化を契機とし
て断裁機専門メーカーとしての体質を整え

て今日に至り、現在大阪本社工場、第2・第3
工場と守口工場を生産拠点に東京、名古屋、
福岡、四国、新潟に加えて全国有力代理店を
通じて販売とフォロー体制を敷いている他、
東京には勝田機械販売(株)を設立して関東
一円の市場に広げている。

平成14年7月、二代目悦章社長の急逝後、
三代目として就任した勝田忠司社長、「初代、
そして先代社長に築いて頂いたこれまでの
歴史と実績を踏まえ、全国の印刷・製本・紙
工業界に対して経済性、堅牢性、作業性に優

連絡先

〒536-0014
大阪市城東区鳴野西3-3-43
電話 06-6961-3945 FAX 06-6961-7705
e-mail info@katsuda-works.co.jp
URL <http://www.katsuda-works.co.jp>

れた断裁機及び省人・省力化機器の提供と、
長年培ってきたノウハウと実績を基に、アフター
メンテナンスにおいても国の内外での断裁市場
におけるニーズへ、しっかり応えていきたい」
と語る。

手動から油圧へ、磁気テープからデジタル
化へと移り変わった過程で部品一つにも内製
化によってこだわり、どちらかと言えば後発
のメーカーでもあるが、今や断裁機・周辺機
器専門メーカーとして確たる地位を築いて
いる。



オフセット校正機のパイオニア

株式会社 下垣鉄工所

代表取締役 下垣 充弘氏

創業は戦後間もない昭和24年。現社長
の祖父である下垣義夫氏が、大阪市生野区
において印刷機械の修理・改造及び販売を
営業目的に産声をあげた。翌年には自社開
発の「下垣ロータリーオフセット印刷機」の
設計及び1号機を完成させ、自社ブランド印
刷機の製造販売業へ事業転換を図る。

そして昭和34年に現在の下垣鉄工所を
象徴するオフセット校正機の開発に着手し、
昭和38年に開発した国内初の自動オフセッ
ト校正機は、爆発的なセールスを記録。印刷・

製版会社のみならず、当時の大蔵省印刷局
や海上保安庁、日本たばこ産業などへの納
入実績を積み重ねることで、今日の繁栄の
礎を築いた。現在でも国内市場シェア50%
以上を誇る「校正機のパイオニア」として知
られる。

また、中国を中心とした海外輸出も多く、
最近では中国の紙幣、パスポートなどを印刷
する企業に納入したようだ。

今年7月、組合理事でもあった先代の故下
垣昇平氏から舵取り役を引き継いだ下垣充

弘社長は、昭和35年生まれの45歳。印刷機、
校正機、写真製版機械など、これまで培っ
てきた設計技術の応用で、新しい分野向け
た製品開発の構想を抱きつつも「当社のベ
ースはあくまで校正機。これまで当社を支
えていただいた多くのユーザー様のために、
この分野だけは守り続けていきたい」と事業
継承に執念を燃やす。

この他同社では、原版フィルム見当合わせ
オートパンチ「ピンアクシム」や、ラミネート
機なども取り扱っている。

連絡先

〒536-0006
大阪市城東区野江2-21-4
電話 06-6939-2891 FAX 06-6939-2834
e-mail shimogaki_iron_works@nifty.com
URL -